

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 6 月 9 日

京都府知事 様



提出者

住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1-7-89
氏 名 日立造船株式会社 取締役社長 三野 禎男
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6569-0145

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

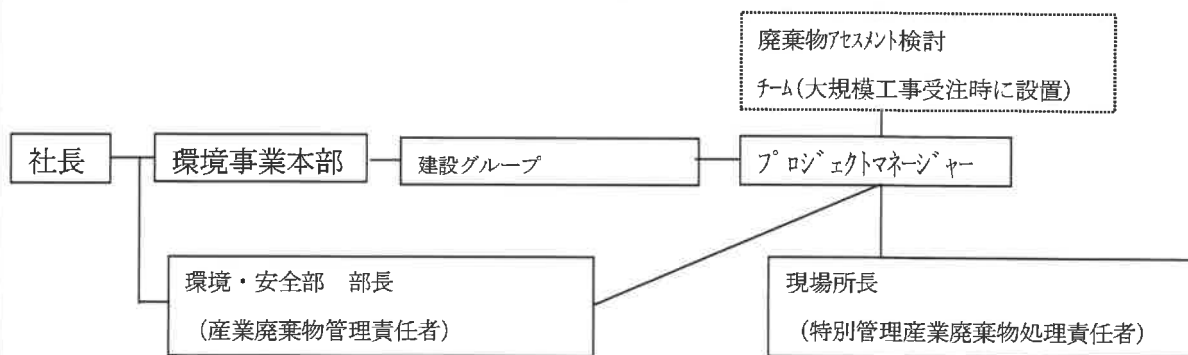
事業場の名称	日立造船株式会社 本社
事業場の所在地	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	41,017,299千円(税抜)
③従業員数	3360人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事→分別→ 汚泥 →収集運搬・処分委託 木くず →収集運搬・処分委託 廃プラスチック →収集運搬・処分委託 金属くず →収集運搬・処分委託 ガラス・陶磁器くず →収集運搬・処分委託 がれき類 →収集運搬・処分委託 廃油 →収集運搬・処分委託 混廃 →収集運搬・処分委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	23912.15 t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法の検討と分別による集積と処分を行った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	85.7 t	t
	(今後実施する予定の取組) 解体工事で発生した廃棄物を適正に分別・処分する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場内にてコンクリートがら、アスコンがら、汚泥、木くず、廃プラスチック、金属くず、ガラス・陶磁器くず、石膏ボード、ALC、がれき類、蛍光灯、鉛蓄電池、石綿含有廃棄物、廃油、混廃と適切に分別した。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従業員に対し、解体工事で発生する産業廃棄物を適正に分別を行うよう教育を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら直接再生利用は行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	／	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分、海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分、海洋投入処分は行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	23912.15 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、産業廃棄物の収集運搬または処分を委託できる業者を選定し、書面による契約を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	85.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、産業廃棄物の収集運搬または処分を委託できる業者を選定し、書面による契約を行う。</p>		
※事務処理欄			

令和元年度 産業廃棄物実績

産業廃棄物の種類	コンクリート がら	アスコンがら	汚泥	木くず	廃プラスチック	金属くず	ガラス・ 陶磁器くず	ALC	がれき類	廃石膏 ボード	蛍光灯	鉛蓄電池	石綿含有 廃棄物	廃油	混廃	合計
排出量	21125.87	1468.24	572.748	22.36	2.77	9.04	25.45	326.67	254.61	4.8	0.04	0.16	11.83	0.44	87.12	23912.148
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理による量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は 海外投入処分する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	21125.87	1468.24	572.748	22.36	2.77	9.04	25.45	326.67	254.61	4.8	0.04	0.16	11.83	0.44	87.12	23912.148
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:t)

